

1万2000 発、真駒内花火 大会を今夏開催

本誌5月号で報じた真駒内花火大会構想が現実のものとなる。7月17日、1万

「真駒内花火大会 DREAM」のポスター



アスカ
寛三社長
藤三
アスカ
寛三
社長
アスカ
寛三
社長

急ピッチで計画を進めてきた。

今年、東日本大震災の復興支援のチャリティイベントとし、収益の全額を義援金として寄付する。

「スタンドの1万2000席を有料にします。大会の名称は『DREAM』。2回、3回と、夢のある花火大会に成長させていきたい」と齊藤氏は語る。(竹内)

2000発の花火が夏の夜空に打ち上がる。札幌圏で過去最大規模だ。「会場となる真駒内セキスイハイムスタジアムを最大限に生かし、音楽や照明なども駆使したものにします。観客をライブや舞台を鑑賞する感覚に引き込みたい」と、花火大会の仕掛け人、人材派遣業などを展開する「アスクゲート」の齊藤三寛社長は語る。

札幌市の豊平川でおこなわれる花火大会は、昨年から1回のみ。齊藤氏は昨年、何とかなしたいと模索していた。かつて真駒内屋外競技場で実施されていたことを知り、今夏の開催を目指し、